

住み慣れた地域でいつまでも
高齢者の生活に関する調査結果(概要版)

吹田市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう生活支援サービスの充実にむけて「高齢者の生活支援と社会参加に関する調査」を行いました。この概要版は、吹田市社協が調査結果を活用し、今後の「地域づくり」の参考資料とするため作成したものです。

対 象 市内に住む 65 歳以上の人から無作為抽出した 2000 人
実施期間 平成 28 年 6 月 10 日～20 日
回 収 率 69.6%

掃除・買い物・食事などの家事支援希望が 4 割。ニーズは多様

高齢者が
必要と思う
サービス

- ①浴室・換気扇の掃除 36.4%
- ②買い物の支援 35.3%
- ③食事の準備・調理など 32.9%
- ④ごみ出し 31.9%
- ⑤電球交換や家電の取り扱い支援 29.7%
- ⑥通院、入院時の支援 29.5%

そのほか…

「入院期間中の生活支援」や「話し相手」「庭、ベランダ、側溝などの掃除」「草引き・庭木の手入れ」など高齢者の方の困りごと、ニーズは多様です。



サービス利用時の希望負担額は、平均 790.8 円、希望報酬は平均 705.3 円と負担してもよいと思う額の方がやや高い結果になりました。

サロンなどを「利用したい」が 3 割。健康がキーワード

気軽に立ち寄れる
居場所
で受けたいサービス

- ①健康相談、健康チェック 31.4%
- ②レクリエーション、体操 21.8%
- ③認知症予防・介護予防などの情報提供 20.2%
- ④特別なサービスは求めている 18.9%
- ⑤食事の提供(有料) 18.5%
- ⑥趣味創作活動の場所 17.0%

参加の目的は「健康の維持ができる」「さまざまな情報交換ができる」が多い。参加者と担い手と一緒にあって、参加する高齢者に役割や出番のあるサロンの企画を考えていきたいですね。



社会活動への「参加をしている」が 4 割。

社会活動
への
参加状況

全体では、「参加している」が 4 割
性別でみると…

男性では、「参加している」が 36.1%

女性では、「参加している」が 40.3%

年齢別でみると…

- ①65～69 歳 46.3%
- ②70～74 歳 41.3%
- ③75～79 歳 40.0%
- ④80～84 歳 34.4%
- ⑤85～89 歳 13.0%
- ⑥90 歳以上 11.8%

活動の内容では、「趣味やスポーツサークルなどの自主活動グループの活動」「自治会・管理組合の活動」「仕事・アルバイト」の順となっています。そのほか、「高齢クラブ」や「シルバー人材センター」の活動など多様な活動を周知していくことも必要です。



社会活動に参加している理由では、「楽しいから」が約 5 割。

活動に参加している理由・目的

- ①楽しいから 46.6%
- ②仲間との交流 40.9%
- ③健康維持・介護予防 38.1%
- ④人との出会い 35.8%
- ⑤人や社会・地域の役に立ちたい 27.1%

地域でのさまざまな活動に参加してもらうには、「楽しく」「無理なく」取り組んでもらうことが必要かと思います。またさまざまな活動を知ってもらえるように広報・周知を広めていきたいですね。



高齢者の生活支援やボランティアの参加希望は、2 割。

高齢者の生活支援やボランティアへの参加希望

- ①現在取り組んでいる 4.6%
- ②条件によっては取り組んでみたい 17.8%
- ③取り組んでみたいと思わない 64.9%

「取り組んでみたいと思わない」方が 6 割を超える結果でありましたが、年齢別にみると、65～69 歳の方は、3 割の方が「取り組んでみたい」という結果でした。年齢が高くなるほど、「取り組みたいと思う」方は少なくなる傾向がありますが、年齢に関わらず「できる時間」に「できること」に取り組んでいただけるよう、皆さんと一緒に地域の中でお一人おひとりに「出番」と「役割」のある地域づくりをすすめていきたいと思えます。



高齢者支援活動の報酬には、「有償ボランティア」が 3 割。

高齢者支援活動に期待する報酬や待遇について

- ①有償ボランティア 29.5%
- ②何も受け取らない 28.8%
- ③わからない 26.3%

助け合い活動という枠組みの中で、金銭を介在させることによって、頼みやすく、また頼まれやすくするというメリットがあります。「無償」と「有償」の活動のそれぞれを理解し、継続性のある活動としていく必要があると思えます。



活動頻度は、「週 1 回程度」(31.5%)が一番多く、次いで「週 2～3 回程度」(16.5%)、「月 1 回程度」(16.1%)の順となっています。

調査結果の活用

今回の調査では、高齢者が希望する生活支援の内容がわかりました。これに対し、さまざまな活動やサービス提供が既に行われているものもあります。今後は実施されている生活支援サービスの情報を整理し、高齢者の希望とつなげていくとともに、地域での暮らしを支える仕組みをさらに充実させていきます。